



# **T I S 株式会社**

## **第 1 7 期 定時株主総会**

**2 0 2 5 年 6 月 2 4 日 (火曜日)**

## 目的事項（報告事項・決議事項）

### 報告事項

1. 第17期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第17期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）計算書類報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件

質疑応答

議案の採決

## 議決権を有する株主数

株 主 数 10,388名

## 総株主の議決権数

議 決 権 数 2,337,980個

## 1. 事業報告等の監査結果

事業報告およびその附属明細書	→ 適法
取締役の職務の執行	→ 適法
内部統制システムに関する内容等	→ 相当

## 2. 計算書類およびその附属明細書の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

## 3. 連結計算書類の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

## 事業報告等の掲載先

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

掲載

### ① 当社ウェブサイト



### ② 東京証券取引所ウェブサイト (東証上場会社情報サービス)



# 第17期 定時株主総会 事業報告 連結計算書類および当社の計算書類

## 当社グループを取り巻く環境

### 日本経済全体

- 各種政策の効果により雇用・所得環境が改善するなど緩やかに回復、先行きについても引き続き回復が期待される
- 米国の政策動向による影響等、我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇、金融資本市場の変動影響等、十分注意が必要

### 情報サービス産業

- DX技術の活用、ビジネスモデルの変革などによる **IT投資需要の更なる増加が期待されている**

## 業績 2025年3月期 (当連結会計年度)

- 当連結会計年度から新たな中期経営計画を始動
- 売上15期連続、営業利益14期連続増の過去最高業績

	2025年3月期	前期比
売上高	5,716億87百万円	+4.1% ↑
営業利益	690億47百万円	+6.9% ↑
経常利益	705億03百万円	+2.8% ↑
親会社株主に帰属する 当期純利益	500億12百万円	+2.3% ↑

# オフリングサービス

売上高

1,455億15百万円



前期比  
+11.3%

前期

当期

営業利益

99億37百万円



前期比  
+29.7%

前期

当期

ベストプラクティスに基づくサービスを  
自社投資により構築、知識集約型  
ITサービスを提供

- ◆エンタープライズ系、基盤系、  
決済分野でIT投資が拡大
- ◆日本ICSを中心に子会社化  
した企業業績の反映等に  
より、**前期比増収増益** ↑

# BPM

## 売上高

426億46百万円



前期比  
+1.7%

前期

当期

## 営業利益

53億26百万円



前期比  
+17.0%

前期

当期

ビジネスプロセスの高度化・効率化・  
アウトソーシングを実現・提供

- ◆ DX事業をはじめとする  
案件獲得、効率化施策の  
推進によるコスト削減により、  
前期比増収増益↑

# 金融IT

## 売上高

1,002億52百万円



前期比  
▲5.7%

前期

当期

## 営業利益

123億21百万円



前期比  
▲18.9%

前期

当期

金融業界に特化した専門的なビジネス・業務ノウハウをベースとしてお客様の事業推進を支援する事業

- ◆クレジットカード系の根幹先顧客および公共系金融機関の大型開発案件のピークアウト影響により、**前期比減収減益↓**

# 産業IT

## 売上高

1,281億20百万円



前期

当期

## 営業利益

193億30百万円



前期

当期

金融以外の産業各分野に特化した専門的なビジネス・業務ノウハウをベースとして、お客様の事業推進を支援

- ◆ 製造系大型開発案件の反動減、不採算案件等の影響あるも、サービス業他幅広い業種によるIT投資拡大が全体を牽引し、**前期比増収増益↑**

# 広域ITソリューション

売上高

1,774億25百万円



前期比  
+2.9%

前期

当期

営業利益

215億76百万円



前期比  
+16.6%

前期

当期

ITプロフェッショナルサービスを  
広範に提供し、お客様の課題解決や  
事業推進を支援する事業

- ◆ 医療系販売案件の反動減影響を受けるも、自治体関連や生損保を中心にIT投資が拡大
- ◆ 不採算案件の大幅減少等により**前期比増収増益**↑

# 中期経営計画（2024-2026） 「Frontiers 2026」

**フロンティア開拓**を基本方針として掲げ、  
**付加価値を伴った持続的成長**をめざす  
**未来志向で市場開拓と事業領域の拡大**を起点とした  
**バリューチェーン全般の質的向上**により、**社会と顧客の変革**を実現

# 事業報告等の掲載先

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

掲載

## ① 当社ウェブサイト



## ② 東京証券取引所ウェブサイト (東証上場会社情報サービス)



# 第17期 定時株主総会 事業報告 対処すべき課題

当社グループの10年先の目指すべき姿  
「グループビジョン2032」

Group  
**VISION**  
2032

社会に、多彩に、グローバルに

社会性と革新性をあわせ持つ  
先進的なグローバルITグループとなることを目指す

- ✓ 生成 A I などの革新的技術
- ✓ デジタル活用ニーズの拡大、多様化

- ✓ グローバルITプラットフォームの躍進
- ✓ 周辺産業からの新規参入
- ✓ 需要サイド・供給サイドの変動

## 課題解決力の向上・強化・拡張

顧客と技術への  
深い理解

×

多様な能力を  
有するプレイヤー  
との共創

## Frontiers 2026

フロンティア開拓を基本方針として掲げ、付加価値を伴った持続的成長をめざす  
未来志向で市場開拓と事業領域の拡大を起点とした  
バリューチェーン全般の質的向上により、社会と顧客の変革を実現

基本方針

基本戦略

### 市場戦略

サービス戦略

テクノロジー戦略

知財戦略

人材戦略

重要  
経営指標

社会からの信頼  
の獲得

売上高

6,200億円

稼ぐ力の向上

営業利益  
営業利益率

810億円  
13.1%

価値ある成長

EPS  
年平均成長率

10%超

資産(=知財)  
の価値創出

ROIC  
ROE

13%超  
16%超

人材成長と付加価値  
の循環

一人あたり  
営業利益

350万円超

## ① 市場戦略

- ・ 社会課題と自社の強みを踏まえて定義した成長領域に対して経営資源を集中投下
- ・ 事業の高付加価値化とテクノロジー投資強化の両輪でグローバルビジネス拡大

### ✓ IT投資需要を着実に取り込み

- お客様のデジタル変革をはじめとする I T 投資需要への的確な対応
- サービス提供の推進による事業拡大
- 自治体情報システム標準化・共通化等の社会課題需要の取り込み

### ✓ グローバル事業は資本・業務提携を進め ASEAN中心に事業規模を拡大

## ② サービス戦略

- ・ 上流～業務アウトソーシングまでサービスのフルバリューチェーン化
- ・ 4つの社会課題をターゲットとしたサービスの拡充

### ✓ 受注拡大は途上

当社独自のモダナイゼーションサービスである  
「Xenlon」やペイメント、ERPなど  
各種サービス展開推進中

さらなるサービスラインナップの拡充と  
受注拡大に努める

## ③テクノロジー戦略

- ・ナレッジ流通とITアーキテクトの育成と再配置の仕組みを進化
- ・AI × 自動化によるプロセス再開発

### ✓ 業務の生産性革新を推進

- 「GitHub Copilot」を活用したオフショア・大規模開発の実践により、得られたナレッジを公開
- 生成AI活用による社内生産性向上が先進事例として取り上げられる

### ✓ 生成AIを活用したビジネスの高付加価値化の本格的な成果創出はこれから

## ④ 知財戦略

- ・ 付加価値の向上と事業規模拡大の両立のため、一層の知財蓄積・利活用を推進
- ・ 顧客接点情報のフィードバック強化による知財創出の促進

### ✓ お客様への価値提供につなげる環境整備

- 顧客接点のデジタル化を推進
- これまでのソリューション提供を通じて蓄積した情報を  
知財として集約
- 生成AI活用により精度の高いタイムリーな提案

## ⑤ 人材戦略

- ・ コンサルタント増員とコンサルティング基礎スキル一般化による解決力強化
- ・ 先鋭人材の獲得・育成と人材の機動的再配置の仕組みを整備

### ✓ 「先鋭人材」の重点的な育成・拡充

コンサルタント、高度営業人材、および先端技術を使いこなすITアーキテクトを「先鋭人材」と定義し、重点的に育成・拡充

### ✓ 人的投資も含めた環境整備

不採算案件やBPMセグメントの落ち込みに対処し、  
受注状況も良化の兆し 受注高前年比 +4.4%↑

## 重点課題

- ① 全セグメントでの新規顧客獲得
- ② 既存顧客の深耕による根幹顧客化

## ・金融ITとBPMセグメントの成長軌道への回帰

- 当社独自のリライト技術「Xenion」を起点とした大型案件の獲得
- グループ連携による顧客開拓を強化

## ・フロントラインの強化

- E R P や X M S、決済をはじめとした基幹業務領域向けソリューションラインナップの充実
- 顧客接点やプロジェクト実績等の知財活用の加速、併せて営業体制の見直し
- グループ連携促進

## ・生成 A I 活用

生成 A I 活用を前提とした抜本的な開発プロセス改革を推進し、ビジネス構造の変革を目指す

## Frontiers 2026

### 基本方針

フロンティア開拓を基本方針として掲げ、付加価値を伴った持続的成長をめざす  
未来志向で市場開拓と事業領域の拡大を起点とした  
バリューチェーン全般の質的向上により、社会と顧客の変革を実現

### 基本戦略

#### 市場戦略

#### サービス戦略

#### テクノロジー戦略

#### 知財戦略

#### 人材戦略

### 重要 経営指標

社会からの信頼  
の獲得

売上高

6,200億円

稼ぐ力の向上

営業利益  
営業利益率

810億円  
13.1%

価値ある成長

EPS  
年平均成長率

10%超

資産(=知財)  
の価値創出

ROIC  
ROE

13%超  
16%超

人材成長と付加価値  
の循環

一人あたり  
営業利益

350万円超

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

以上の報告を終了致します。

## 剰余金処分の件

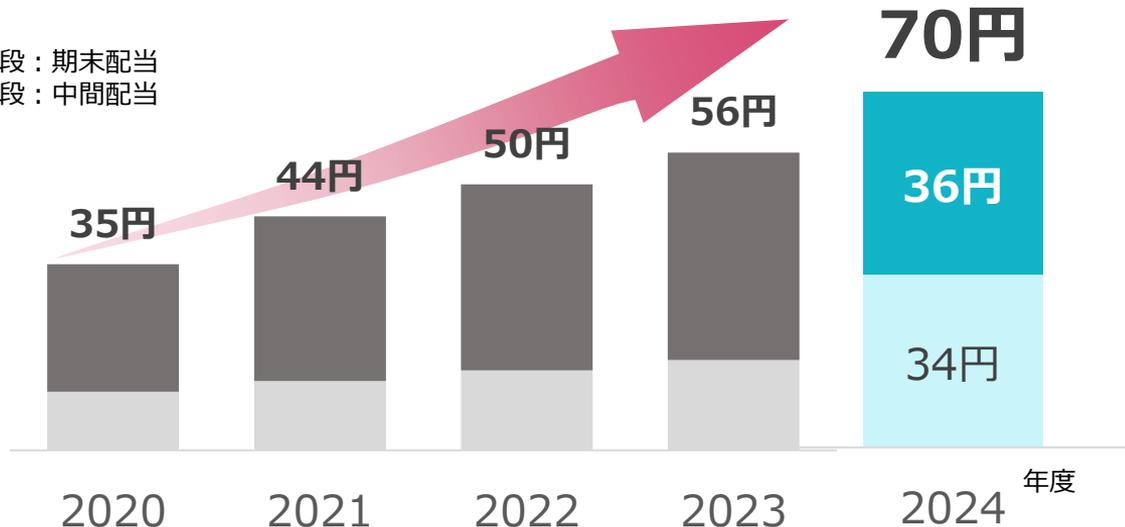
当期期末配当 1株につき  
総額  
剰余金配当の効力発生日

**36円** 当初計画比 **2円増配**

84億 2,452万 7,508円

2025年6月25日

上段：期末配当  
下段：中間配当



年間配当金

1株につき **70円**

前期比 **14円増配**

## 取締役9名選任の件

**取締役全員（9名）  
本定時株主総会終結の時をもって任期満了**

**取締役9名選任**  
**（社外取締役3名含む）**  
**（再任6名、新任3名）**

## 取締役9名選任の件

再任



**桑野 徹**  
(くわの とおる)

再任



**堀口 信一**  
(ほりぐち しんいち)

新任



**中村 清貴**  
(なかむら きよたか)

## 取締役9名選任の件

再任



**足田 秀三**  
(ひきだ しゅうぞう)

新任



**眞門 聡明**  
(まかど あきら)

## 取締役9名選任の件

再任

独立社外取締役

再任

独立社外取締役

新任

独立社外取締役



**水越 尚子**  
(みずこし なおこ)



**須永 順子**  
(すなが じゅんこ)



**古澤 満宏**  
(ふるさわ みつひろ)

## 取締役9名選任の件

再任



**岡本 安史**  
**(おかもと やすし)**

## 取締役9名選任の件

再任



桑野 徹

再任



岡本 安史

再任



堀口 信一

再任



水越 尚子

再任



須永 順子

新任



中村 清貴

再任



疋田 秀三

新任



眞門 聡明

独立社外取締役

再任



水越 尚子

再任



須永 順子

新任



古澤 満宏

# 質疑応答

- ご発言・ご質問の際は、挙手願います。
- 議長が指名いたしましたら、会場係員の誘導に従い、マイクまで移動ください。
- ご発言の際は、「出席票」の番号を述べて下さい。  
※お名前は仰って頂かなくて結構です。
- ご発言・ご質問は、簡潔に、一問にてお願いします。

# 議案の採決

**第1号議案 剰余金処分の件**

第2号議案 取締役9名選任の件

# 議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

# TIS株式会社

## 第17期 定時株主総会

# 閉会



本日はまことにありがとうございました





**中村 清貴**  
**(なかむら きよたか)**



**眞門 聡明**  
**(まかど あきら)**



**古澤 満宏**  
**(ふるさわ みつひろ)**

# ITで、社会の願い叶えよう。



## TIS INTEC Group

<本資料に関するお問い合わせ>

T I S株式会社

企画本部 コーポレートガバナンス推進部

株主総会事務局

E-Mail : [cg\\_promotion@ml.tis.co.jp](mailto:cg_promotion@ml.tis.co.jp)

<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法および不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。